

第2回碧南市文化財保護審議会 会議録

日時

令和6年12月13日（金）午前10時～11時30分

場所

碧南市藤井達吉現代美術館 地下1階 多目的室B

出席者及び欠席者

- (1) 出席者 副会長 野村清尚、委員 岩田敏也、委員 伊藤利和、委員 石川博章
委員 北村恒
- (2) 欠席者 会長 浅井久夫、委員 曲田浩和
- (3) 事務局職員 文化財課長 杉浦宏真、文化財課長補佐 木村理恵子、文化財課文化財係長 豆田誠路、文化財課学芸員 築山拓磨、加藤有美

傍聴者 0人

議題

- 1 あいさつ
- 2 協議事項
 - (1) 令和6年度文化財展の進捗状況について（資料1）
 - (2) 令和6年度文化財防火デーについて（資料2）
 - (3) 令和6年度視察研修（案）について（資料3）
- 3 報告事項
 - (1) 令和6年度歴史系企画展終了について
 - (2) 令和7年度歴史系企画展について（資料4）
- 4 その他連絡事項

議事の要旨

- 1 あいさつ（野村副会長）
- 2 協議事項
 - (1) 令和6年度文化財展の進捗状況について（資料1）

事務局が会議資料に基づき、令和6年度文化財展の進捗状況について説明した。審議の結果、委員の協議内容を踏まえ進めていくことでは了承された。

<主な意見・質疑>

【A委員】パンフレットの全体構成、流れはどうなっているのか。

【事務局】パンフレットは展示構成に沿って作っている。

【B委員】サブタイトルはあるのか。

【事務局】「三河鉄道開業111年、名鉄三河線猿投～西中金間、碧南～吉良吉田間廃線20年」がサブタイトル。

【B委員】鉄道の敷設は資本がたくさん必要。なぜ大浜につながっていたのか、地元のニーズの裏側、高浜や他の市のニーズも取り上げてみては。

【事務局】地元のニーズ、神谷傳兵衛の流れも解説に加える。

【A委員】港と内陸の物流が当時のニーズだったのか。関連性も大事に。「碧南」と書かれているため、地域のことにしてもう少し注目を。

【事務局】衰退して廃線したのではなく、利用者もいたということも伝える。

【C委員】鉄道の歴史を切り開いた感じのパンフレットになっていて良い。もう少しレイアウトの整理を。

【D委員】表と年表を見やすくし、誰でも見やすいパンフレットに。

【事務局】簡潔に分かりやすく、図と文の配置を考える。

【A委員】鉄道の役割は産業だけではなく、文化や教育にも影響しているはず。「鉄道のおかげで学校に通えた」など、個々の思い出をよみがえらせる展示になるとより良い。

(2) 令和6年度文化財防火デーについて（資料2）

事務局が会議資料に基づき、令和6年度文化財防火デーについて説明した。審議の結果、委員の協議内容を踏まえ進めていくことで了承された。

(3) 令和6年度視察研修（案）について（資料3）

事務局が会議資料に基づき、令和6年度視察研修（案）について説明した。審議の結果、委員の協議内容を踏まえ事務局一任で進めていくことで了承された。

3 報告事項

(1) 令和6年度歴史系企画展の終了について

事務局が令和6年度歴史系企画展の終了について報告した。

報告内容について、審議会として了承された。

<主な意見・質疑>

【D委員】アンケートを書いてくれる方は興味のある方。若い人もたくさん来館しているはず。受付でアンケートを渡すなど工夫してみても。

【B委員】他の美術館では、受付でスマホをかざすとできるところもある。

(2) 令和7年度歴史系企画展について（資料4）

事務局が会議資料に基づき、令和7年度歴史系企画展について報告した。

報告内容について、審議会として了承された。

<主な意見・質疑>

【A委員】10年前の永井直勝展とは違う展開ということでよいのか。

【事務局】以前の展示は永井家だけ注目したが、今回はもう一歩先の展示ということで努めたい。

【D委員】長田家メインならサブタイトルを付けるなど、前回と同じにならないように。

【B委員】どうやって根付いてきたのか説明する。

【事務局】資料も確認しながら展示資料調査をし、説明する形で展示する。

4 その他連絡事項 なし